

# 受験者マニュアル

1.3 版



このページは空白です。

# 目次

|                            |           |
|----------------------------|-----------|
| はじめに.....                  | 3         |
| 受験者規約.....                 | 4         |
| <b>1. 試験について .....</b>     | <b>6</b>  |
| 1.1 概要.....                | 6         |
| 1.2 試験時間.....              | 7         |
| 1.3 言語.....                | 7         |
| 1.4 受験料.....               | 7         |
| 1.5 試験会場.....              | 7         |
| 1.6 教育コース・研修制度.....        | 8         |
| <b>2. 認証範囲 .....</b>       | <b>9</b>  |
| 2.1 認証範囲.....              | 9         |
| 2.2 有効期間.....              | 9         |
| <b>3. 申し込み方法 .....</b>     | <b>10</b> |
| 3.1 受験条件.....              | 10        |
| 3.2 倫理規定.....              | 10        |
| 3.3 機密保持規約.....            | 12        |
| 3.4 申し込み方法.....            | 12        |
| 3.5 特別受験.....              | 13        |
| <b>4. 試験当日 .....</b>       | <b>14</b> |
| 4.1 試験会場の規則.....           | 14        |
| 4.2 身分証明書.....             | 14        |
| 4.3 受験.....                | 14        |
| 4.4 試験会場のセキュリティ.....       | 15        |
| 4.5 欠席と遅刻.....             | 16        |
| 4.6 キャンセルと予約変更.....        | 16        |
| <b>5. 認証プログラムについて.....</b> | <b>17</b> |
| 5.1 認定証とスコアレポート.....       | 17        |

|                           |             |           |
|---------------------------|-------------|-----------|
| 5.2                       | 機密情報の管理と開示  | 17        |
| 5.3                       | 公開情報        | 17        |
| 5.4                       | 再受験規定       | 18        |
| 5.5                       | 再認証規定       | 18        |
| 5.6                       | 不正行為        | 18        |
| 5.7                       | 苦情・異議申し立て規定 | 18        |
| 5.8                       | ロゴ・認証マーク規定  | 19        |
| <b>巻末資料 1: 職務記述と技能要件</b>  |             | <b>21</b> |
| <b>巻末資料 2: 苦情フォーム</b>     |             | <b>26</b> |
| <b>巻末資料 3: 異議申し立てフォーム</b> |             | <b>27</b> |

## はじめに

GAIT 認証プログラムにご興味をお持ちいただきまして、誠にありがとうございます。GAIT はデータベース、OS、アプリケーション、ストレージ、セキュリティ、ネットワーク、仮想化といった IT 分野における、あなたの知識や技能を評価します。

この受験者マニュアルには、認証範囲、受験条件、申し込み手順、受験手順、認証手順、その他本プログラムに関わるすべての情報が記載されています。

GAIT 認証プログラムは、日本サード・パーティ株式会社（以下「JTP」といいます。）が提供します。JTP は GAIT の試験及び認証に関わる全ての事項（認証の付与、認証の維持、認証の更新、認証範囲の拡大と縮小、認証の停止、認証の取り消しなど）に対する権限を持っています。JTP はこれら権限を持つ唯一の機関であり、他のいかなる個人・団体にもその権限を委譲しません。JTP と GAIT 事務局は、公平性の原則と認証制度の完全性を遵守することをお約束します。

GAIT 試験はプロメトリック株式会社が運営しており、世界中のプロメトリックテストセンターで受験することができます。

GAIT 認証プログラムに関するお問い合わせは、GAIT 事務局（本部・東京）までお願いいたします。 [info@gait.org](mailto:info@gait.org)

## 受験者規約

GAIT の認証を受けるにあたり、すべての受験者は、以下の受験者規約に同意しなければいけません。

私は、受験者マニュアルに記載されている GAIT 認証プログラムの諸条件を読み、理解し、遵守することを確認いたします。申し込みなどに際し提供した情報に誤りがあったり、不正確だった場合、あるいは規定や規約に違反した場合には、認証の拒否、認証の停止や取り消し、認証範囲の縮小などの処罰を受けることを認識し、同意します。

私が、有効な身分証明書を持参しなかったり、試験会場に遅刻した場合には、GAIT 事務局や試験運営機関は、受験を拒否する権利があることを、認識しています。このような事由から受験を拒否された場合、受験料の返金、次回受験への繰り越しは認められません。試験当日、試験監督は、適切で安全な受験環境を提供します。私は、試験監督の指示に従い、試験中に他の受験者や外部の第三者といかなる方法でもやりとりをいたしません。私は、試験室に、参考資料、メモ、撮影機器、通信機器、高機能電卓などを含むいかなる外部資料や装置も持ち込みません。

私は、GAIT 認証プログラムのすべてのコンテンツは、JTP の所有物であり、その著作権は JTP が持っていることを理解しています。私が試験を受ける唯一の目的は、認証対象の分野における、私の知識と技能を測ることであり、それ以外の目的で、GAIT のコンテンツを使用、保有することは禁止されています。目的の如何を問わず、書面による JTP の明白な事前許可を得ずに、GAIT のコンテンツの全部もしくは一部において、いかなる方法による、いかなる形式で、公開、出版、コピー、複製、送信、配布しないことに同意いたします。GAIT のコンテンツを、いかなる形式で、無断で保有、公開、出版、コピー、複製、送信、配布することは禁止されており、違反した場合は、民事責任または刑事責任を問われることがあります。試験中に参考書を閲覧する、メモや他の受験者を覗き込んでカンニングする、私語を交わす、試験内容をコピー、撮影、転写、複製する、試験室から備品を持ち出す、援助を与えたり受けたりする、試験前に不当な手段で試験内容を知るなど、これらの行為は禁止されていることを理解しています。これらの不正行為に関わった場合、認証資格を剥奪されることがあります。

私は、GAIT 認証プログラムの諸条件に従わなかった場合、処罰を受ける可能性があることを理解し、同意いたします。処罰には、GAIT 試験の受験拒否、スコアの

取り消し、認定証の発行拒否、認証の停止、取り下げ、過料や損害賠償の請求などが含まれます。私は、認定証とスコアレポートに関するすべての権利を GAIT が保有し、要求に応じて返納しなければいけないことを理解しています。

## 1. 試験について

GAIT 試験は、心理統計学を用いた業務分析研究の結果に基づき、対象分野の専門家が開発しています。データベース、OS、アプリケーション、ストレージ、セキュリティ、ネットワーク、仮想化などの IT 分野における、知識や技能を測定する仕組みになっています。

### 1.1 概要

GAIT 試験の出題数は 132 問で、7 つの分野、22 のカテゴリに分類されています。職務記述と技能要件は、本書に巻末資料 1 として添付されています。

試験問題は、単一選択式、または複数選択式です。

試験範囲は以下の通りです。

| データベース   |            |
|----------|------------|
| DB-1     | SQL        |
| DB-2     | DB 管理      |
| DB-3     | DB 設計      |
| OS       |            |
| OS-1     | リテラシ       |
| OS-2     | Windows    |
| OS-3     | UNIX&Linux |
| アプリケーション |            |
| AP-1     | 基礎         |
| AP-2     | 設計         |
| AP-3     | 実装         |
| AP-4     | 開発プロセス     |
| ストレージ    |            |
| SG-1     | リテラシ       |
| SG-2     | RAID       |
| SG-3     | バックアップ     |



| セキュリティ |            |
|--------|------------|
| SC-1   | リテラシ       |
| SC-2   | インフラストラクチャ |
| SC-3   | クラッキング     |
| SC-4   | セキュリティポリシー |
| ネットワーク |            |
| NW-1   | リテラシ       |
| NW-2   | デバイス       |
| NW-3   | モバイル&ソーシャル |
| 仮想化    |            |
| VR-1   | リテラシ       |
| VR-2   | サーバ&ストレージ  |

## 1.2 試験時間

試験時間は 52 分間です。

## 1.3 言語

受験言語は、英語、日本語、中国語からお選びいただけます。

## 1.4 受験料

1 回あたりの受験料は 8,500 円（税抜）です。受験前に支払いを全額完了させなければいけません。

受験料は予約時に徴収されます。支払方法は、クレジットカード、コンビニエンスストア払い、Pay-easy 払い、受験チケット（バウチャー）、プロモーションコードが選択可能です。

## 1.5 試験会場

GAIT 試験は、GAIT 認定のコンピュータベーステスト配信業者（プロメトリック）が運営しています。

以下のサイトより、お近くの APTC をお探してください。

[https://www1.prometric-jp.com/reserve/center\\_map.asp](https://www1.prometric-jp.com/reserve/center_map.asp)

## 1.6 教育コース・研修制度

GAIT 事務局は、教育コース、教材の提供や、研修制度、対策コースの推奨をしていません。受験者は、自身で試験範囲の中から自分の弱点分野を特定し、勉強の計画を立て、試験に備えて必要な準備をしてください。

JTP では教育コースや研修制度を提供していますが、GAIT 事務局としてそれらの利用を推奨することはありません。

## 2. 認証範囲

### 2.1 認証範囲

受験後、取得したスコアに応じて認証が供与されます。スコアが合格点に満たない場合は、不合格となります。

GAIT 認証プログラムにおいて、年齢、性別、人種、宗教、国籍、障害の有無、配偶者の有無、性的指向に基づく差別をすることはございません。

スコアに応じた認証のレベルは以下の通りです。

| 認証のレベル                                  | スコア       |
|---|-----------|
| 不合格                                     | 0 ~ 299   |
| GAIT Certified IT Professional - Bronze | 300 ~ 479 |
| GAIT Certified IT Professional - Silver | 480 ~ 699 |
| GAIT Certified IT Professional - Gold   | 700 ~ 990 |

- GAIT Certified IT Professional - Bronze 被認証者には、初級職務に必要な基礎的な理解力と知識が認められます。より熟達した IT エキスパートと共に、もしくは IT エキスパートの下で働くことをお勧めします。
- GAIT Certified IT Professional - Silver 被認証者には、中級職務に必要な理解力と知識が認められます。受験者は、学んだ知識を実際に使いこなす実力を持ち、それぞれの分野の新しい技術に応用することが出来ると思われまます。
- GAIT Certified IT Professional - Gold 被認証者には、上級職務に必要な知識と理解度が認められます。高度なプロジェクトや業務を牽引するだけの専門知識を持ち、新しい技術分野を広げることで、IT 業界に寄与することが出来ると思われまます。

### 2.2 有効期間

GAIT の認証は、試験日から 1 年間有効です。有効期間を延長することは出来ません。認証の更新については、再認証規定（5.5）をご覧ください。

### 3. 申し込み方法

#### 3.1 受験条件

受験者は、GAIT 試験を受けるにあたり、すべての受験条件を満たさなければいけません。受験条件は以下の通りです。

- 受験者は、認証範囲を理解したうえで、GAIT 試験を受けることに、電子署名をすることで同意します。
- 受験者は、受験者マニュアルに記載されている規定や手順を読み、それに従うことに同意します。
- 受験者は、受験者として保有する、苦情や異議申し立ての権利に関する規定を読み、理解したことに同意します。
- 受験者は、受験者マニュアルに記載された受験条件を読んだ上で、それに従い、受験にあたって必要な情報はすべて提供することに同意します。
- 受験者は、GAIT 倫理規定を遵守することに同意します。
- 受験者は、GAIT 機密保持規約を遵守することに同意します。
- 受験者は、GAIT ロゴ・認証マーク規定を遵守することに同意します。
- 受験者は、認定証を停止、取り消し、撤回された場合、それ以降認定証を使用しないことに同意します。

上記の受験条件を満たさない場合は GAIT 試験を受けることができません。

#### 3.2 倫理規定

GAIT の認証を受けた者（被認証者）は、必ず本規定ならびに関連する規定を熟読し、遵守しなければいけません。

受験者、または被認証者が、カンニング、セキュリティ違反、不正行為、誤った情報の提供、その他 GAIT の完全性や機密性を脅かすと思われるあらゆる行為をはたらくことは、本規定に対する侵害行為とみなされます。被認証者は下記事項に従わなければいけません。

- 被認証者は、GAIT が掲げる諸条件に従います。
- 被認証者は、誠実さをもって職務に取り組みます。
- 被認証者は、顧客、パートナー、雇用主に対し、公平で妥当なサービスを提供します。また利益相反に抵触する場合は、申告いたします。
- 被認証者は、顧客の事前許可なくして、顧客の機密情報を開示いたしません。
- 被認証者は、常に、職務のイメージを高めるような行動を取ることを心が

けます。

- 被認証者は、顧客に良質なサービスを提供し続けられるよう、認証された分野の知識や技能を維持いたします。
- 被認証者は、誤解を与えるような表現や、誤った内容を含んだ情報を提供、宣伝することによって、顧客を勧誘することはいたしません。
- 職務を遂行する上で、被認証者は、顧客、雇用主、従業員、同業者、政府やその他規制機関や公的機関、その他個人または団体に対し、不正、詐欺、欺瞞、虚偽を含む行為に関わることを、また、故意に誤った表現や誤解を与えるような表現を使用することはいたしません。
- 被認証者は、認証マークや認証を証明するものを、認められた形式でのみ、使用いたします。
- 認証の差し止めがあった場合、被認証者は、差し止められている期間中は、認証の利用を差し控えます。
- 認証の取り消しがあった場合、被認証者は、認証状況を証明する一切の言及を差し控えることに同意します。
- 被認証者は、受験条件を満たすことが出来ないような状況になる可能性がある場合、直ちに認証団体に報告いたします。
- 被認証者は、提供される認証制度に従います。
- 被認証者は、供与された認証の範囲に対してのみ、抗議することができます。
- 被認証者は、認証団体の信用を失墜させるような形で認証を使用したり、認証団体が、語弊がある、もしくは許可されていないとみなす発言をすることはいたしません。
- 被認証者は、認証の差し止め、または取り消しがあった場合、認証団体もしくは、認定証に関わるすべての抗議内容を取り下げます。
- 被認証者は、誤解を招く恐れのある形で、認証を使用することはいたしません。

#### **違反、ならびに制裁措置の通知**

受験者、または被認証者が、本規定を違反したと判断されると、調査過程と該当する制裁措置が明記された、書面での違反通知が送られます。

制裁措置には以下の行為が含まれます。

- 違反の決定がなされた日から最短 24 ヶ月間の認証資格の取り消し
- 過去に取得した認証の無効化

- GAIT の倫理、異議申し立て規定とその手順を維持するために、認証団体が必要、もしくは適切と考える、法的措置を含むあらゆる措置の適用

受験者、または被認証者が、認証団体の決定に対し異議を申し立てるとき、異議申し立て規定に従って、異議申し立てフォーム(巻末資料 3)に必要事項を記入し、決定から 30 日以内に申し立てなければいけません。(5.7)

### 3.3 機密保持規約

GAIT の問題漏えいにつながる一切の行為は禁じられており、受験者が認証を受ける以外の目的で GAIT を利用することは認められておりません。また、目的の如何を問わず、書面による JTP の明白な事前許可なくして、GAIT の全部もしくは一部において、文書、口頭、電子的データ、機械によるいかなる形式での複製、送信、公開、出版は禁じられています。本規約への遵守を怠ると、JTP は過去に受験した GAIT の結果の取り消し、以降の受験の禁止や損害賠償請求を含む法的措置などを取る場合があります。

### 3.4 申し込み方法

GAIT 試験はプロメトリックを通じて申し込みます。プロメトリックウェブサイトでのオンライン予約は、24 時間受け付けています。

#### アカウントを作成する

まず最初に、プロメトリックウェブサイトでアカウントを開き、自分のプロメトリック ID を作成します。プロメトリック ID とパスワードは安全に保管してください。既にプロメトリック ID を持っている方は、「試験を予約する」から始めてください。

アカウント作成はこちらから

[https://www1.prometric-jp.com/id\\_get/id\\_new.asp](https://www1.prometric-jp.com/id_get/id_new.asp)

アカウントに登録する氏名と住所は、身分証明書に記載されている内容と合致しなければいけません。受験者は、試験会場にて、アカウント登録内容に一致する身分証明書の提示を求められます。

E メールアドレス等の連絡先は、プロメトリックや GAIT 事務局が受験者に連絡するときが必要となります。最新の情報が登録されていることをお確かめください。

### **試験を予約する**

試験を予約するには、プロメトリックウェブサイトをご覧ください。

<http://it.prometric-jp.com/testlist/gait/index.html>

試験日と試験会場を指定すると、画面上およびEメールでの確認書が見られます。確認書は、保存もしくはプリントアウトすることをおすすめします。

試験予約、お支払い、その他試験会場に関するご質問は、お近くのAPTCまでお願いいたします。

[https://www1.prometric-jp.com/reserve/center\\_map.asp](https://www1.prometric-jp.com/reserve/center_map.asp)

### **3.5 特別受験**

特別な受験環境を必要とする受験者には、特別受験が適用される場合がございます。詳細はこちらをご確認ください。

[http://it.prometric-jp.com/reserve/special\\_accommodation.html](http://it.prometric-jp.com/reserve/special_accommodation.html)

特別受験申請書は、希望する受験日の45日前までに、障害者手帳のコピーと一緒にプロメトリック宛に送ってください。申請書は上記ページでダウンロード可能です。

## 4. 試験当日

### 4.1 試験会場の規則

試験会場に到着すると、受付前にプロメトリック受験規定が手渡されます。禁止事項、不正行為、その他注意事項が書かれているので、必ずお読みください。

### 4.2 身分証明書

受験者は、試験当日、プロメトリックが指定する有効な身分証明書を提示しなければいけません。有効な身分証明書はこちらをご確認ください。

<http://it.prometric-jp.com/reserve/id.html>

身分証明書は、申し込み時に入力した情報と同じ内容を含んでいなければいけません。

有効な身分証明書を提示いただけないと、受験することが出来ません。その場合の受験料の返金はいたしかねます。

### 4.3 受験

試験を開始するにあたり、受験者は以下の項目に同意することが求められます。ひとつでも同意しない項目があると、試験を開始することが出来ません。その場合の受験料の返金はいたしかねます。

- 私は、認証範囲を理解したうえで、GAIT 試験を受けます。
- 私は、受験者マニュアルに記載されている規定や手順を読み、それに従います。
- 私は、受験者として保有する、苦情や異議申し立ての権利に関する規定を読み、理解しています。
- 私は、受験者マニュアルに記載された受験条件を読み、それを満たしていることに間違いありません。受験にあたって必要な情報はすべて提供します。
- 私は、GAIT 倫理規定を遵守します。
- 私は、GAIT 機密保持規約を遵守します。
- 私は、GAIT ロゴ・認証マーク規定を遵守します。
- 私は、認定証を停止、取り消し、撤回された場合、それ以降認定証を使用いたしません。



試験を始める前に、受験者の背景を問うアンケートがあります。アンケート回答時間は、試験時間に含まれません。

試験終了後、スコアとフィールド別の得点率が記載された試験結果を受け取ります。この試験結果は、オフィシャルスコアレポートや認定証とは全く異なる、非公式な書類です。

受験日から 30 日以内に、GAIT 事務局からオフィシャルスコアレポートが送られてきます。GAIT 認証レベルに到達した受験者には、スコアに応じて Bronze、Silver、Gold の認定証が送られます。

カンニングなどの不正行為が発覚すると、受験結果を差し止め、取り消す場合があります。

また、GAIT 事務局では、受験資格を持たない受験者に対し、認定証を発行いたしません。

#### 4.4 試験会場のセキュリティ

試験中、受験者は、以下の内一つ以上の方法で、試験監督に監視されています。

- a) 目視
- b) 音声付または音声なしでのビデオ撮影
- c) その他視覚的に試験室のセキュリティを確認できる方法（試験監督の配置など）
- d) 試験室内の巡回

##### 付加的なセキュリティ方策

- a) 試験中の私物（メモ、本、電子機器、飲食物など）の持ち込み禁止
- b) 試験内容に関わる援助を受ける行為の禁止
- c) 私語の禁止
- d) 試験監督の許可を得ずに入退室することの禁止
- e) 問題を録音する、書き留めるなどによる問題の持ち出し行為の禁止

#### **4.5 欠席と遅刻**

欠席や遅刻をすると、試験を受けることが出来ません。その場合の受験料の返金はいたしかねます。再度受験を希望する場合は、予約を取り直し、受験料を改めてお支払いください。

#### **4.6 キャンセルと予約変更**

受験者は、予約のキャンセルや変更をすることが出来ます。詳細はこちらからご確認ください。

[http://it.prometric-jp.com/guide/cancel\\_reschedule.html](http://it.prometric-jp.com/guide/cancel_reschedule.html)

## 5. 認証プログラムについて

### 5.1 認定証とスコアレポート

受験日から 30 日以内に、GAIT 事務局からオフィシャルスコアレポートが送られてきます。GAIT 認証レベルに到達した受験者には、スコアに応じて Bronze、Silver、Gold の認定証が送られます。

認定証とスコアレポートに関するすべての権利は GAIT が保有しています。カンニングなどの不正行為が発覚すると、受験結果を差し止め、取り消す場合があります。

また、GAIT 事務局では、受験資格を持たない受験者に対し、認定証を発行いたしません。

プロメトリックアカウントに登録されている連絡先（試験日の時点）は、スコアレポート及び認定証の送付など、GAIT 事務局が受験者や被認証者と連絡を取る手段として使用いたします。アカウント情報に変更がある場合は必ず GAIT 事務局 ([info@gait.org](mailto:info@gait.org)) までお知らせください。

### 5.2 機密情報の管理と開示

受験者および被認証者の連絡先、支払情報、試験結果などを含むすべての個人情報、機密に取り扱われ、関係者しか利用することが出来ないよう管理されています。これらの個人情報を本人の承諾を得ずに開示することはありません。受験者および被認証者の情報を使って分析研究を行う際は、本人が特定できないよう処理した状態で使用します。

GAIT 事務局は、個人の認証状況を確認する問い合わせがあったとき、「認証されている」「認証されていない」という形式でのみ回答いたします。このような問い合わせをする際は、①受験者のフルネームと②国・地域を記入し、Eメールで GAIT 事務局 ([info@gait.org](mailto:info@gait.org)) までお送りください。

### 5.3 公開情報

GAIT の認証範囲、認証プロセス、受験条件、受験者および被認証者に関する規定は、GAIT オフィシャルウェブサイト上に公開されています。

<http://www.gait.org/jp.html>

#### 5.4 再受験規定

受験者や被認証者は、GAIT 試験を再受験することができます。

#### 5.5 再認証規定

認定証の有効期限について、GAIT 事務局から通知することはございません。認証を維持するには、有効期限が切れる前にもう一度受験しなければいけません。認証を更新するときも、受験条件を満たし、試験を完了することが必須です。受験後、取得したスコアに応じて認証が供与されます。スコアが合格点に満たない場合は、不合格となります。

#### 5.6 不正行為

カンニングなどの不正行為が発覚した場合、GAIT 事務局は、認証資格の剥奪などの措置を取ることが出来ます。その場合の受験料の返金はいたしかねます。

#### 5.7 苦情・異議申し立て規定

受験者には、試験内容、技術的な精度、試験の公平性などに関して意見する権利があります。GAIT 事務局 ([info@gait.org](mailto:info@gait.org)) 宛に送られた有効な意見はすべて精査されます。

##### **苦情規定**

GAIT 認証プログラムに関与している、または関与した方で、提供されたサービス内容に不満がある、もしくは明白な不正行為に対して苦情を報告したい方は、GAIT 事務局に是正措置の依頼をすることができます。

苦情を報告するには、受験日から 30 日以内に、苦情フォーム（巻末資料 2）に記入し GAIT 事務局 ([info@gait.org](mailto:info@gait.org)) まで E メールをお送りください。上記期間を過ぎてからの苦情報告は一切受け付けられません。GAIT 事務局は、苦情フォームを受け取ってから 60 日以内に回答いたします。

##### **異議申し立て規定**

GAIT 認証プログラムに関与している、または関与した方は、認証や再認証の拒否、倫理規定違反に対する制裁措置など受験者に不利な決定に対して、異議を申し立てることができます。

異議を申し立てるには、受験日から 30 日以内に、異議申し立てフォーム（巻末資料 3）に記入し GAIT 事務局（[info@gait.org](mailto:info@gait.org)）まで E メールをお送りください。上記期間を過ぎてからの異議申し立ては一切受け付けられません。GAIT 事務局は、異議申し立てフォームを受け取ってから 60 日以内に回答いたします。

## 5.8 ロゴ・認証マーク規定

GAIT ロゴと認証マークは GAIT 事務局の所有物です。これらの規定違反に対し、GAIT 事務局は法的手段を含む是正措置を取ることができます。

### ロゴ規定

GAIT 事務局の書面による事前許可なくして、ロゴを使用することは、固く禁じられています。

GAIT ロゴ：



### 認証マーク規定

被認証者は、個人使用または商用の目的で、認証マークを使用することが出来ます。（ex. 名刺、ビジネスレター、履歴書、ウェブサイト、Eメール、販促資料などへの転載）認証マークの変形、回転、複製、サイズや配色の変更は禁じられています。認証マークを見やすく表示させるために、指定された最小サイズ（通常 巾 25mm、名刺に限り 巾 20mm）を下回る大きさで使用してはいけません。被認証者は、認証マークを他人に誤解を与えるような形で使用することを控えなければいけません。また、有効期限が切れた後、もしくは認証の差し止め、取り消しがなされたときは、認証マークを使用してはいけません。

GAIT 認証マーク :

| GAIT Certified IT<br>Professional - Gold  | GAIT Certified IT<br>Professional - Silver   | GAIT Certified IT<br>Professional - Bronze  |
|---|--|---|
|  |  |  |

最小サイズ :



名刺での使用のみ可

## 巻末資料 1: 職務記述と技能要件

GAIT Certified IT Professional の職務記述と職務別の技能要件は以下の通りです。

| データベース |                                    |  |
|--------|------------------------------------|--|
| タスク    |                                    | 必要とされる知識や技能  |
| 1      | 基本的な DBMS を導入する                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>- 用語、略称、製品名</li> <li>- リレーショナルデータベースの基本設計や概念</li> <li>- 基本的なデータベース環境の構築</li> <li>- NO SQL の基本設計や概念</li> <li>- データの抽出や編集</li> <li>- バックアップやリカバリ</li> <li>- コマンドや設定</li> </ul>                                    |
| 2      | データベースや Web サイトアプリケーション向けのクエリを作成する | <ul style="list-style-type: none"> <li>- SQL の基本技術</li> <li>- コマンドや設定</li> <li>- テーブル構成</li> </ul>   |
| 3      | データベースを保守・管理する                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>- 基本的なトラブルシューティング</li> <li>- テーブルやインデックスの設計</li> <li>- SQL 技術</li> <li>- データベース管理ツール</li> </ul>   |
| 4      | データベースを設計する                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>- モデル化や正規化</li> <li>- ER 図や UML</li> <li>- データベース統合</li> <li>- NO SQL 環境の設定や統合</li> </ul>   |
| 5      | データベースの最適化を行う                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>- メタデータ</li> <li>- 分散システム</li> <li>- パフォーマンスチューニング</li> <li>- 複雑なテーブルの設計や正規化</li> <li>- システムアーキテクチャの設計やプランニング</li> <li>- パフォーマンス管理</li> <li>- 運用戦略やプランニング</li> <li>- トラブルシューティング</li> <li>- OR マッピング</li> </ul> |
| 6      | データベースのセキュリティ管理を行う                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>- アクセス制御</li> <li>- 暗号化</li> <li>- 認証</li> </ul>  |
| OS     |                                    |  |
| タスク    |                                    | 必要とされる知識や技能  |
| 1      | OS を実装する                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>- ソフトウェアやハードウェアの実装</li> <li>- 基本的な OS の用語やコマンド</li> <li>- ユーザーアカウント</li> <li>- パージョン間の違いとそれぞれの特徴</li> <li>- パーティショニング</li> <li>- 異なる環境への実装要件</li> </ul>   |
| 2      | OS を設定する                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>- アクセス制御管理</li> <li>- タスクやロールごとの特権</li> <li>- ソフトウェアやシステムのアップデート</li> <li>- 基本的な OS の用語やコマンド</li> </ul>   |
| 3      | トラブルシューティングを行う                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>- 基本的な OS の用語やコマンド</li> <li>- エラー対応</li> <li>- 影響範囲</li> <li>- ハードウェアの検証コマンド</li> <li>- ログファイルの読解</li> <li>- 使用サービスの状況把握</li> <li>- 障害時の情報収集</li> </ul>   |

|                 |  |   |
|-----------------|--|---|
|                 |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>- 監視ツールの利用</li> <li>- 全般的なハードウェア設定</li> <li>- 製品の種類</li> </ul>   |
| 4               | OS を運用する                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>- データのバックアップやリカバリ</li> <li>- システムセキュリティ</li> <li>- ファイルシステム</li> <li>- ネットワーク設定</li> <li>- リソース管理</li> <li>- 利用中のサービス</li> <li>- システムのステータス分析</li> </ul> |
| 5               | システムリソースの最適化を行う                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>- システムリソース管理</li> <li>- システムリソースチューニング</li> <li>- システム構築</li> <li>- タスクやサービスの管理・操作</li> <li>- リソース運用</li> </ul>  |
| <b>アプリケーション</b> |  |   |
|                 | <b>タスク</b>                                 | <b>必要とされる知識や技能</b>  |
| 1               | 簡単なアプリケーションを設計する                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>- ソフトウェアデザインパターン</li> <li>- 開発プロセス</li> <li>- ソフトウェアライフサイクル</li> <li>- ソフトウェアキテクチャ</li> <li>- ソフトウェア開発環境</li> <li>- UML</li> </ul>                       |
| 2               | 簡単なアプリケーションコンポーネントを作成する                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>- プログラミング言語</li> <li>- オブジェクト指向</li> </ul>   |
| 3               | テストプランやテストケースを実施する                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>- ソフトウェアテスト</li> <li>- テスト手法</li> <li>- テスト種類</li> </ul>   |
| 4               | テンプレートを作成する                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>- マークアップ言語</li> </ul>  |
| 5               | 基本的な運用・管理のスクリプトを作成する                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>- スクリプト</li> <li>- 一般用語</li> </ul>   |
| 6               | 仕様書を基に簡単なアプリケーションの設計やコーディングを行う             | <ul style="list-style-type: none"> <li>- プログラミング基礎</li> <li>- ソフトウェアモデリング</li> <li>- ソフトウェア標準化団体</li> <li>- ソフトウェア国際標準</li> </ul>   |
| 7               | システム開発の品質を高めるために開発プロセスを利用する                | <ul style="list-style-type: none"> <li>- ソフトウェア開発手法</li> <li>- ソフトウェアテスト技法</li> <li>- プログラミング基礎知識</li> </ul>  |
| 8               | JAVA EE を使って簡単な Web サイトアプリケーションを作成する       | <ul style="list-style-type: none"> <li>- HTML5</li> <li>- Java EE 概要</li> <li>- Java SE 標準ライブラリ</li> <li>- Web サービス概要</li> <li>- HTTP プロトコル</li> </ul>  |
| 9               | 開発プロセスにおいてリスクを特定する                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>- プログラミング基礎知識</li> <li>- ソフトウェアモデリング</li> <li>- ソフトウェア開発手法</li> </ul>  |
| 10              | アプリケーションやシステム上のリレーションを特定するために UML モデルを使用する | <ul style="list-style-type: none"> <li>- ソフトウェアモデリング</li> <li>- アスペクト指向概要</li> </ul>  |
| 11              | JAVA や.NET 環境を開発する                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>- JavaEE アーキテクチャ</li> <li>- デザインパターンの実装</li> <li>- ソフトウェア設計概要</li> <li>- 開発プロセス</li> <li>- ソフトウェアモデリング</li> </ul>  |
| 12              | スクリプトを作成する                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>- Perl</li> <li>- Python</li> <li>- Powershell</li> <li>- JAVA</li> <li>- Shell</li> <li>- JavaScript,</li> <li>- Ruby</li> <li>- Haskell</li> </ul>     |



|        |                                      | - VBA  |
|--------|--------------------------------------|--|
| 13     | Web アプリケーションをデプロイ・監視する               | - Web アプリケーションフレームワーク  |
| ストレージ  |                                      |  |
| タスク    |                                      | 必要とされる知識や技能  |
| 1      | ストレージコンポーネントを実装する                    | - 一般用語<br>- RAID<br>- リムーバブルメディア<br>- 基本的なストレージハードウェア<br>- NAS や DAS の特徴<br>- バックアップやレプリケーション  |
| 2      | ストレージインフラストラクチャを運用する                 | - RAID<br>- ファイルシステム<br>- ストレージネットワーク用語とプロトコル<br>- 様々なインフラストラクチャのソリューション<br>- バックアップ手法<br>- ストレージ向けの一般的な OS コマンド<br>- ストレージ機器                              |
| 3      | ストレージインフラストラクチャを設計する                 | - ストレージやネットワークに関する用語やプロトコル<br>- 様々なインフラストラクチャソリューションの機能や目的<br>- トポロジー概念  |
| 4      | バックアップソリューションを実装・運用する                | - レプリケーション技術<br>- バックアップやリカバリの実装方法   |
| 5      | ストレージ環境のトラブルシューティングをする               | - ストレージコンポーネントの特徴<br>- 影響の範囲と状況の把握<br>- プロトコル<br>- 障害時の情報収集<br>- ログファイルの読解   |
| 6      | ストレージインフラストラクチャを最適化する                | - 冗長技術<br>- トポロジー技術<br>- キャパシティプランニング  |
| セキュリティ |                                      |  |
| タスク    |                                      | 必要とされる知識や技能  |
| 1      | セキュリティソフトウェアをインストールしたり、セキュリティ機器を実装する | - 基本的なセキュリティ用語や概念<br>- ファイアウォールの基礎<br>- アンチウイルスソフトウェア<br>- ネットワーク機器のセキュリティ機能<br>- ネットワークセキュリティプロセス<br>- 基本的なネットワーク構築                                       |
| 2      | 基本的なセキュリティポリシーを導入する                  | - 基本的なセキュリティ用語や概念<br>- 施設内セキュリティプロセス<br>- 認証方法<br>- 災害対応管理<br>- 攻撃手法<br>- IDS  |
| 3      | ネットワークセキュリティを管理する                    | - ネットワークプロトコル<br>- IDS、IPS、ハニーポット<br>- 遠隔操作に関する用語やプロトコル<br>- ファイアウォール<br>- 認証モデルやコンポーネント<br>- 暗号鍵の管理やキーライフサイクルの用語<br>- 暗号手法やその特徴                           |
| 4      | 脅威管理を行う                              | - 暗号化アルゴリズムと暗号化システム<br>- ソーシャルエンジニアリング<br>- 情報セキュリティ管理システムの概念<br>- 脆弱性スキャナ<br>- 無線攻撃の手法やツール<br>- アプリケーション攻撃<br>- 統合脅威管理<br>- インシデントレスポンスプロセス、DICOM、キーストローク |

|   |                       |  |
|---|-----------------------|--|
|   |                       | ダイナミクス認証   |
| 5 | セキュリティソリューションを設計・実装する | <ul style="list-style-type: none"> <li>- ネットワークプロトコル攻撃</li> <li>- トロイの木馬、ワーム、ボットネットの検知</li> <li>- Clark Wilson モデル</li> <li>- Bell-LaPadula モデル</li> <li>- Biba モデル</li> <li>- ダイナミックマルウェア解析</li> <li>- snort.conf の設定</li> <li>- 386 以上のプロセッサの設定や基本的なアセンブラシンタックス</li> <li>- 監査、CPU、メモリ、バンド幅、ディスク監視に関する用語や目的</li> <li>- ファイル変換ログ</li> <li>- ストリーム暗号攻撃や FMS 攻撃の手法や概念</li> <li>- 音声や映像セキュリティ</li> <li>- セキュリティに関する団体やプロトコル</li> <li>- ルータやスイッチのセキュリティ</li> <li>- 認証方法</li> <li>- 暗号攻撃</li> <li>- Firesheep、セッションハイジャック、クッキーハイジャック、バウンス攻撃</li> <li>- 企業ポリシーや法律</li> <li>- ディザスタリカバリプロセス</li> <li>- 情報セキュリティ管理システム</li> <li>- コンピュータシステムの PDCA 評価基準</li> <li>- OS の設定や管理</li> <li>- スマートカード API</li> </ul> |

## ネットワーク

| タスク |                                 | 必要とされる知識や技能   |
|-----|---------------------------------|---|
| 1   | 小規模なネットワークをセットアップ・管理する          | <ul style="list-style-type: none"> <li>- 基本的な用語とプロトコル</li> <li>- OS において重要なネットワークコマンド</li> <li>- ルータやスイッチのプロトコル</li> <li>- IP4 及び IP6 アドレスやサブネットの概念</li> <li>- メディアケーブルや接続機器</li> <li>- ネットワーク機器の一般的な機能</li> <li>- ネットワークセキュリティ基礎</li> </ul>  |
| 2   | ネットワークパフォーマンスの監視・トラブルシューティングを行う | <ul style="list-style-type: none"> <li>- 重要なネットワークコマンド</li> <li>- 基本的なネットワーク用語やプロトコル</li> <li>- TCP/IP や OSI モデル</li> <li>- ネットワーク設計</li> <li>- SNMP</li> <li>- パケットキャプチャ</li> <li>- MIB</li> </ul>   |
| 3   | モバイルソリューションやソーシャルメディアを取り入れる     | <ul style="list-style-type: none"> <li>- 基本的な用語やソーシャルメディアの特徴</li> <li>- 小規模な無線ネットワークのコンポーネント</li> <li>- 無線プロトコルやスタンダード</li> </ul>   |
| 4   | エンタープライズネットワークを設定する             | <ul style="list-style-type: none"> <li>- LAN や WAN の特徴や機能</li> <li>- ネットワークセグメンテーションや通信管理の概念</li> <li>- WAN の設定</li> <li>- ルータの設定</li> <li>- NAT の設定</li> <li>- DHCP の設定</li> <li>- IPv6 アドレススキーム</li> <li>- よく使われる CUI コマンド</li> <li>- データリンクレイヤープロトコル</li> <li>- ルータプロトコル</li> <li>- IP、TCP ヘッダ</li> <li>- ネットワーク仮想化</li> <li>- 第7層ロードバランス</li> </ul> |
| 5   | ワイヤレスネットワークをセットアップする            | <ul style="list-style-type: none"> <li>- 無線ネットワークの設定</li> <li>- モバイルプラットフォームのプロトコル、標準、特徴</li> </ul>   |

|            |                         |  |
|------------|-------------------------|--|
|            |                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>- 干渉対応</li> </ul>   |
| 6          | ネットワークのトラブルシューティングを行う   | <ul style="list-style-type: none"> <li>- OSI/TCP モデルやプロトコル</li> <li>- TCP、UDP、IP ヘッダ</li> <li>- トラブルシューティング方法やコマンド</li> <li>- パケットキャプチャ</li> <li>- 製品機能</li> <li>- ログファイルの読解</li> <li>- 稼働中のサービスの状況把握</li> <li>- 障害時の情報収集</li> <li>- ネットワーク設計</li> </ul>           |
| 7          | ネットワークの最適化・チューニングを行う    | <ul style="list-style-type: none"> <li>- 冗長化プロトコル</li> <li>- NAC</li> <li>- ネットワークアーキテクチャ設計</li> <li>- IEEE standard</li> <li>- VOIP、T.38 標準やプロトコル</li> <li>- アプリケーションレイヤープロトコル</li> <li>- WWAN トポロジーやプロトコル</li> </ul>   |
| <b>仮想化</b> |                         |  |
|            | <b>タスク</b>              | <b>必要とされる知識や技能</b>   |
| 1          | 基本的な仮想環境をセットアップ・管理する    | <ul style="list-style-type: none"> <li>- 仮想環境の長所と短所</li> <li>- 冗長性の基礎知識</li> <li>- 一般的な用語と定義</li> <li>- ストレージを使用した基本的な技術</li> </ul>  |
| 2          | 基本的なリソース管理を行う           | <ul style="list-style-type: none"> <li>- リソース管理</li> <li>- アクセスグループ管理</li> <li>- アラームトリガー</li> <li>- 仮想マシンの管理</li> <li>- タスクスケジューラ</li> </ul>  |
| 3          | クライアントやストレージを移行する       | <ul style="list-style-type: none"> <li>- ストレージの移行</li> <li>- パーティショニング</li> <li>- ディスクアクセス</li> <li>- デプロイ手法</li> <li>- クライアント管理</li> </ul>  |
| 4          | 仮想リソースを設定・変更する          | <ul style="list-style-type: none"> <li>- メモリ管理</li> <li>- ディスク管理</li> <li>- CPU 管理</li> <li>- 仮想マシンの負荷</li> <li>- リソース設計</li> <li>- 仮想ネットワークの設計</li> </ul>   |
| 5          | 仮想環境の最適化・トラブルシューティングを行う | <ul style="list-style-type: none"> <li>- 仮想マシンリソースの最適化</li> <li>- 仮想ネットワークのスケラビリティ</li> <li>- 仮想ストレージソリューション</li> <li>- CPU ロードバランス技術</li> <li>- 仮想リソースと物理リソースの管理</li> <li>- DRS 移行アルゴリズム</li> <li>- ロードインバランスの測定基準</li> <li>- CPU 親和度</li> <li>- データ分析</li> </ul> |

巻末資料 2: 苦情フォーム

## GAIT 苦情フォーム

| ご連絡先   |            |
|--------|------------|
| お名前    | プロメトリック ID |
| ご住所    |            |
| 都道府県   | 国          |
| 電話番号   |            |
| E-mail |            |

| 受験情報  |      |
|-------|------|
| 試験日   |      |
| 試験会場名 | 都道府県 |

| 苦情内容   |
|--|
| 本日の日付： _____<br>苦情の内容を詳細にご記入ください。説明に役立つと思われる資料は本紙に添付してご送付ください。必要に応じて追加の記入用紙をご利用ください。 |

巻末資料 3: 異議申し立てフォーム

## GAIT 異議申し立てフォーム

| ご連絡先   |            |
|--------|------------|
| お名前    | プロメトリック ID |
| ご住所    |            |
| 都道府県   | 国          |
| 電話番号   |            |
| E-mail |            |

| 受験情報  |      |
|-------|------|
| 試験日   |      |
| 試験会場名 | 都道府県 |

| 異議申し立て内容  |
|---|
| 本日の日付： _____<br>異議を申し立てる内容を詳細にご記入ください。説明に役立つと思われる資料は本紙に添付してご送付ください。必要に応じて追加の記入用紙をご利用ください。 |